

# 厚付補修用ポリマーセメントモルタル

## RF 厚付モルタル

(社)公共建築協会評価材料(ポリマーセメントモルタル)

### 特 長

- RF厚付モルタルは、追い掛けて塗り重ねても、ダレ難く厚付ができます。
- RF厚付モルタルは、圧縮、曲げ強度、防水性、接着性等、各種性能に優れています。
- RF厚付モルタルはセメント系の補修材料なので、コンクリートに近い基礎物性を持っています。

### 使用材料・標準配合

| 使用材料     | 主成分                               | 標準配合<br>(重量比) | 荷姿     |
|----------|-----------------------------------|---------------|--------|
| RF厚付パウダー | 早強セメント、砂、繊維および数種類の特種混和材を調合した既調合粉体 | 100           | 20kg/袋 |
| RF厚付混和材  | 特殊調合のSBR系ラテックス                    | 16~18         | 18kg/缶 |

### 用 途

RF厚付モルタルは、RF厚付パウダーとRF厚付混和材を組合せて得られる厚付用の防錆剤入りポリマーセメントモルタルで、剥離、欠損部分の断面修復材(埋め戻し材)および下地調整材として使用します。

### 使用方法

- 欠損部分の埋め戻しを行う場合は、水湿し・吸水調整材塗布等を行った後、コテを用い、強く押しつけるよう埋め戻します。
- 塗り付けに際して、はじめの1層は、約6mm程度の薄めにして下地に強く押し付けるようにして下さい。その後の塗り重ねは、追いかけて、下層とうまくなじむようにして行って下さい。
- 塗り厚は1日当たり30mmを限度として、6~10mmの厚さで塗り重ねて下さい。30mm以上の場合は数回に分け、下層が硬化後(1日以上)塗り重ねて下さい。ただし、比較的広い面積(約0.5m<sup>2</sup>以上)で全面に15~30mm塗り付ける場合は、2日に分けて塗り重ねて下さい。
- 練り混ぜ直後(5~10分程度)に“しまり”がでますので、材料をコテ板上で動かしながら使用して下さい。なお、練り混ぜ約10分後に、泡を巻き込まないように注意して再度練り混ぜ(30秒程度)れば、“しまり”は解消し、その後の“しまり”も少なくなります。
- 練り置き可能な時間は、30分を目安としますが、夏期や、特に気温の高い時期は、それより短くなります。また、練り足しは、行わないで下さい。
- 練り混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、過度の粉体を一度に練り混ぜないで下さい。
- 詳細は、施工要領書をご参照願います。

### 標準使用量

- 標準塗面積:約1.1m<sup>2</sup> / RF厚付パウダー 1袋・1cm厚
- 1m<sup>3</sup>当りの材料使用量 RF厚付パウダー:約93袋(1853kg) RF厚付混和材:約17缶(297kg)~約19缶(334kg)

### RF 厚付モルタルの性質

- 建築改修工事監理指針 欠損部充てん用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

| 試験項目   |          | 規定値               | 試験値          |         |
|--|----------|-------------------|--------------|---------|
| だれ   | 下がり量(mm) | 5以内               | 0.7          |         |
|  | 表面状態     | ひび割れが発生しないこと      | ひび割れの発生なし    |         |
| 曲げ強さ(kgf/cm <sup>2</sup> ) [N/mm <sup>2</sup> ]        |          | 60[5.88]以上        | 113[11.1]    |         |
| 圧縮強さ(kgf/cm <sup>2</sup> ) [N/mm <sup>2</sup> ]        |          | 200[19.6]以上       | 387[38.0]    |         |
| 接着強さ<br>(kgf/cm <sup>2</sup> )<br>[N/mm <sup>2</sup> ] | 標準条件     | 10[0.98]以上        | 18[1.8]      |         |
|  | 特殊条件     | 湿潤時               | 8[0.78]以上    | 10[1.0] |
|  |          | 低温時               | 5[0.49]以上    | 18[1.8] |
| 透水性  |          | 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 | 裏面の濡れ、水滴付着なし |         |

\*20℃,60%R.H.の環境での代表値です。 \*曲げ強さ、圧縮強さは、4×4×16cmの供試体での測定値です。

# 厚付補修用ポリマーセメントモルタル

## RF厚付モルタル

### RF厚付モルタルの性質

●建築改修工事監理指針 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

| 試験項目   |         | 基準値        | 試験値        |
|--|---------|------------|------------|
| 曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )(kgf/cm <sup>2</sup> )     |         | 6.0 {61}   | 11.1 {113} |
| 圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )(kgf/cm <sup>2</sup> )     |         | 20.0 {204} | 38.0 {387} |
| 接着強さ<br>(N/mm <sup>2</sup> )(kgf/cm <sup>2</sup> ) | 標準時     | 1.0 {10}   | 1.8 {18}   |
|  | 温冷繰り返し後 | 1.0 {10}   | 1.2 {12}   |
| 透水量(g)   |         | 20.0以下     | 10.7       |
| 吸水量(ml/hr)   |         | 0.5以下      | 0.017      |
| 長さ変化(%)  |         | 0.15以下     | 0.098      |

\*20℃,60%R.H.の環境での代表値です。 \*曲げ強さ、圧縮強さは、4×4×16cmの供試体での測定値です。

### RF厚付モルタル使用上の注意

- RF厚付モルタルは、RF厚付パウダーとRF厚付混和材とを組み合わせ得られるポリマーセメントモルタルです。他の材料は絶対に混合しないで下さい。
- RF厚付モルタルの軟度の調整は、必ずRF厚付混和材を用いて行って下さい。
- モルタルを練り混ぜる際、練り混ぜ過ぎて、泡を巻き込み過ぎないように注意して下さい。
- 練り混ぜ量は、作業体制、環境、条件等によって調整し、過度のモルタルを一度に練り混ぜないで下さい。
- 施工に当たっては、下地面のレイタンス、油分、ゴミ等は取り除き十分に清掃して下さい。
- RF厚付モルタルのコテ仕上げを行う場合、スキニングを起こした後にコテ押さえを行うとひび割れ、剥離等を引き起こす恐れがあるので、これは避けて下さい。
- 軒先、庇先、上裏等で欠損が大きく、落下の危険性がある場合は、アンカー、メッシュ取付け等の落下防止対策を行って下さい。
- 直射日光、風当たりの激しい場所、夏期の施工では、急激な乾燥を

防止するため、養生シート、ポリエチレンフィルム等で保護して下さい。

- 施工時に外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず5℃以下の時に施工する場合は、板囲い、幌布シート、ビニールシート等のおおいの他、ヒーター等で保温して下さい。
- 降雨、強風あるいは周辺の他の作業により塗布作業に支障をおこす恐れのある場合は、作業を見合せて下さい。
- 施工中は、周辺の他の部材および仕上げ面等を汚損しないようシート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。
- 施工中は、近隣の建物、車等を汚損しないようシート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。
- 施工中及び施工後早期に、強風や日射等により急激に乾燥する恐れのある場合は、シート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。
- 施工中及び施工後早期に、降雨、降雪等の影響を受ける恐れのある場合は、シート類、ポリエチレンフィルム等で養生を行って下さい。

### RF厚付パウダー取扱い上の注意

- RF厚付パウダーは、セメントと同様アルカリ性です。取り扱う時は、保護メガネ(ゴーグル)、ゴム手袋、マスク等を着用し、目に入ったり、皮膚に付着させないように注意して下さい。
- 誤って目に入ったり、皮膚についた場合は直ちに水で洗浄し、速やかに医師の診察を受けて下さい。
- RF厚付パウダーは、雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。

### 専用混和材の取扱い上の注意

- 凍結しないように注意し、5～40℃で直射日光の当たらない室内に保管して下さい。開缶後は、乾燥しないよう密封して保管して下さい。開缶後は出来るだけ早く使いきる様にして下さい。
- 酸性物質と接触すると分解してNOxガスを発生しますので絶対に酸性物質と接触させないで下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性などは、使用条件などによりカタログと異なる結果が生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い致します。このカタログの記載内容は、予告なしに仕様や取扱いを変更することがあります。

 **太平洋マテリアル株式会社**

本社・営業本部 高機能建材営業部

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-15 ネオカワイビル TEL.03(3278)5328

|       |           |                    |            |                  |
|-------|-----------|--------------------|------------|------------------|
| 北海道支店 | 〒060-0004 | 札幌市中央区北4条西5-1-4    | 三井生命札幌共同ビル | TEL.011(221)5855 |
| 東北支店  | 〒980-6020 | 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1   | 住友生命仙台中央ビル | TEL.022(221)4511 |
| 東京支店  | 〒103-0023 | 東京都中央区日本橋本町4-8-15  | ネオカワイビル 4階 | TEL.03(3278)5331 |
| 北陸支店  | 〒920-0031 | 石川県金沢市広岡3-1-1      | 金沢パークビル    | TEL.076(234)1670 |
| 中部支店  | 〒453-0801 | 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 | 名古屋KSビル    | TEL.052(452)7141 |
| 関西支店  | 〒530-8618 | 大阪市北区中之島2-2-2      | ニチメンビルディング | TEL.06(6228)6660 |
| 中国支店  | 〒732-0828 | 広島市南区京橋町1-23       | 三井生命広島駅前ビル | TEL.082(261)7191 |
| 四国支店  | 〒760-0050 | 香川県高松市亀井町7-15      | セントラルビル    | TEL.087(833)5758 |
| 九州支店  | 〒810-0001 | 福岡市中央区天神4-2-31     | 第2サンビル     | TEL.092(781)5331 |